

平成20年1月11日

保護者 様

長崎大学教育学部附属中学校
校長 中西弘樹

平成19年度 第2回学校評価のためのアンケート結果について（お知らせ）

厳寒の候、保護者の皆様にはますます御健勝にてお過ごしのことと存じます。日ごろから本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、教育目標の達成状況や今後の課題を探るために、皆様に2回目のアンケート調査をお願いいたしましたところ、御多用中にもかかわらず御協力いただき、ありがとうございました。

つきましては、別紙のとおり結果がまとまりましたので報告いたします。なお、分析が不十分であったり、皆様の思いを十分に受け止めたものでなかったりする部分もあるかと存じますが、御了承ください。今回掲載できなかった御意見や御要望に対する回答につきましては、必要に応じて学校だよりやWebページ等に掲載してまいります。

本校では、今後も保護者の皆様の御期待に添えるような教育を推進していく所存でございます。皆様には、一層の御支援及び御協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、本校のアンケートの在り方についていただいた御質問への回答や、集計作業を通しての感想を下記にまとめましたので、併せて御覧ください。

記

お尋ねに対する回答

① 評価は5段階にした方がよいのではないか？（2件）

前回は説明いたしましたが、5段階にすると中央の3という回答が多くなりがちです。顕著な傾向を見るために、今年度は4段階で実施いたしました。今後は、段階の分け方についても検討をいたします。

② 「保護者の教育姿勢」を問う項目を設定する意図は？（1件）

保護者の皆様がお子様にもどのようにかかわっておられるか、また、生徒が家庭でどのような過ごし方をしているかを知ることが、学校での指導を考える上でとても参考になります。「学校や学年の目標や指導方針を十分にお伝えできていないこと」「生徒が決まった時間帯に家庭学習をすることが難しい生活をしていること」「育友会活動活性化に向けての学校の努力が不十分であること」などを、ここに設定した質問に対する回答から読み取ることができます。今後は、設定すべき評価項目についても検討をいたします。

集計作業を通しての感想

① 家庭と学校とが協力し合って、解決すべき課題が多い。

前回と同様に、学習指導、相談活動及び部活動などについて、多くの御要望をいただきました。対応可能なものから順に一つ一つ解決を図っていきます。しかし、いただいた御要望の中には、すぐに解決することができないものもありますので、これまで以上に保護者の皆様のお力をお借りするなどの工夫が必要であると感じております。

② 困っていることは、まず学級担任に相談してほしい。

「毎日の学習用具が重すぎるので、少なくなるようにしてほしい。」「コートの着用を許可してほしい。」という要望は、学年が進むにつれて減る傾向にあるようです（1年6件、2年2件、3年0件）。これは、学校生活への慣れや身体の成長とも関係しているようです。しかしながら、重い荷物や寒さのために健康に悪影響を及ぼすようなことがあってはいけませんので、お困りの場合は学級担任に御相談ください。